

三歳からの三年間で漢字 1,000 字をマスター

このように漢字教育は、〇歳児のうちからでもはじめられるものですが、お子さんがすでに一歳を過ぎていても、決してあせる必要はありません。ただ、すでにお話したように、人間の一生でもっとも機械的記憶能力、つまり丸暗記能力が高いのは〇～三歳頃ですから、できれば満三歳前後までには始めるのがよいでしょう。

また、三歳頃から漢字学習をスタートしますと、毎日一字ずつ新しい漢字を覚えていったとしても、小学校へ上がるまでの三年間で、単純計算で 1,095 字の漢字が読めるようになります。

実際には、ほとんどの子どもが、これ以上の漢字を覚える潜在能力をもっていますが、一日一字のペースでやっても、現在、小学校の六年間で習うことになっている、いわゆる教育漢字 1,006 字も就学前に



3歳からの3年間で1095字覚えられる

は十分クリアしてしまえるのです。

これくらいの漢字学力を身につけますと、小学校に上がる頃には、小学生向けに書かれた本なら、そのほとんどを読みこなせるようになっていま

す。そうすると、教科書に書かれていることも楽に理解できますから、当然学校の勉強も楽しくなります。

また、本を読むことが少しも苦にならないので、どんどん自分の興味を広げていくことができ、お子さんの考える力はひとりでの伸びていくのです。

私の経験から言いますと、三歳から漢字をはじめると、知能指数は一年間でおおよそ 10 くらい高くなり、三年間やれば、ほとんどの子どもが知能指数 130、すなわちクラスで一人か二人くらいしかいない“英才”のレベルに達しています。先ほどご紹介した円中庸介君も、高校時代、クラブ活動や好きな詩作に執申しながら東大医学部に進学し、現在も大学院に残って研究を続けていると聞いています。